

レジメンcode:	C98-02	備考
適応がん種:	MSI-High又はTMB-Highを有する固形癌	
レジメン名:	Pembrolizumab(6週間)	
間隔:	6週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	400	mg/body	点滴(30分)	d1

### day1

1) 生食 50ml 1 本

ルート確保

2) キイトルーダ 400 mg/body

生食 50ml 1 本

主管① 点滴 30分 インラインフィルター必須

3) 生食 50ml 1 本

フラッシュ用

〈所要時間 約1時間〉

### 【適応】

がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌

がん化学療法後に増悪した高い腫瘍遺伝子変異(TMB-High)を有する進行・再発の固形癌

\*どちらも、標準的な治療が困難な場合に限る

(ただし、MSI-Highを有する結腸・直腸癌に対しては1次治療から使用可能、その際にはC18-54,55:Pembrolizumabを選択する)

\*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。ホルモン検査(TSH、T4、ACTH、コルチゾール)は、1ヶ月に1回の実施を推奨。

◎検査セット登録あり:場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫初回)(免疫2回目~)

\*インラインフィルター(0.2~5  $\mu$  m)を使用する。

\*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

\*希釈後の最終濃度1~10mg/mlとする。

\*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

\*希釈後、25°C以下で12時間以内または2~8°Cで7日以内に使用する。

\*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズム(臨床試験における)を参照する。

\*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。